



薄板すみ肉溶接部の破面試験 (ISO 9017)

ISO 9017に基づくすみ肉溶接部(薄板)の破面試験を実施できます。

薄板のすみ肉破面試験の概要

ISO 9017に基づくすみ肉溶接の破面試験を実施し、溶接部の欠陥評価に用いることができます。

薄板のすみ肉試験片作製

薄板のすみ肉溶接部試験体から切り出したままの状態では、試験中に座屈する可能性があります。ISO 9017に基づき、すみ肉溶接部にノッチ加工を施します(図1および図2、溶接部高さ:afは80%以上を確保)。溶接部断面を確認(寸法測定含む)し、適切なノッチになるよう調整します。

破面試験片:
溶接部にノッチ加工

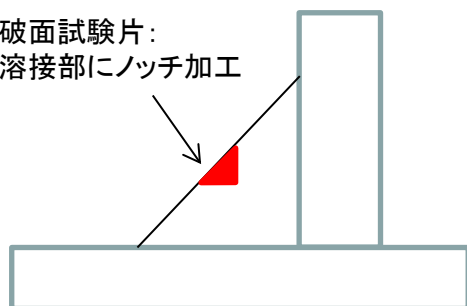


図1 破面試験片溶接部ノッチ部加工

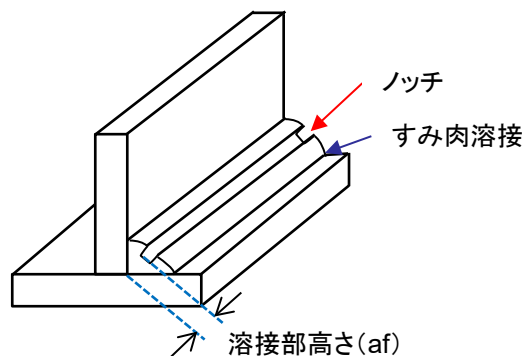


図2 破面試験片形状

試験方法

- ① 溶接部のルート側が開口する方向に曲げ外力を与えて破断させます(図3)。
- ② 溶接部(ノッチ加工部)が開口する方向に曲げ外力を与えて破断させます(図4)。

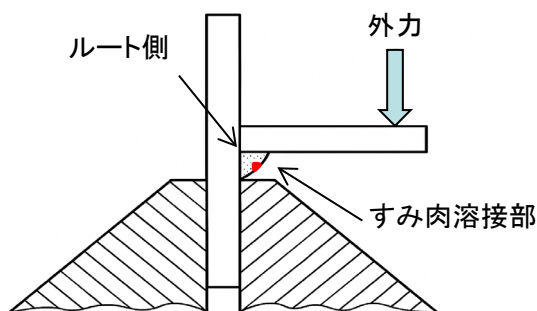


図3 破面試験イメージ その1

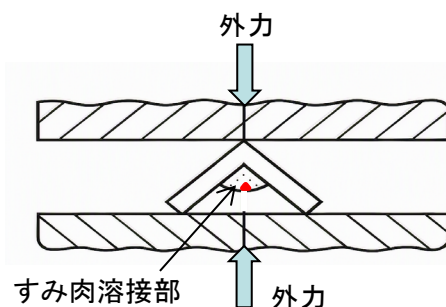


図4 破面試験イメージ その2

すみ肉溶接部の破面

破面状況を写真1に示します。
すみ肉溶接部の欠陥評価用に破面を現出
できます。
板厚が2 mm以上の薄板でも対応可能です。

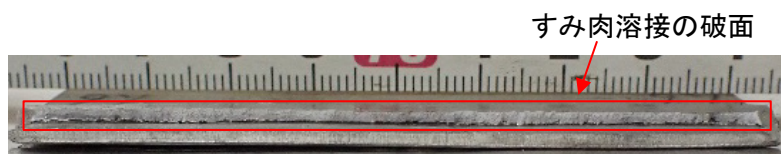


写真1 破面状況イメージ



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2026 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。

